

久しぶりに上田六五会に参加

上原 昇 (2組)

先日、久しぶりに帰省する機会がありました。4月22日(土)は天気も良く、上田はこの時期、一年でも一番気持ちの良い季節です。この日の夜、上田の同期有志の集まり「六五会」が開催されるとあって、久しぶりに飛び入り参加しました。

いつもは毎月21日に開催されている同会ですが、今月は22日となりました。

幹事は島田甲子雄君(1組)で、会場はこれまでの同期会でも馴染みの「香青軒」(上田市中央)でした。

六五会も当初20名近くいたメンバーが諸事情により減少して、当日参集したのは以下の諸氏でありました。

島田幹事と筆者のほか、小山寿一、上野政博、丸山幸雄(2組)、中村幸男(4組)、布施修一郎(6組)、小山田秀士(7組)、若林健、柳沢英明(9組)といったレギュラーメンバーに、当日は荻原薫(8組)、増澤賢一(9組)の特別参加も加わり、総勢12名の同期が集まりました。

当会は元々、無尽方式の集まりだったのですが、最近、普通の同期懇親会にしたとのことで、同期であればどなたでも大歓迎とのことでした。

何年間も毎月定期的に行っている歴史のある会ということもあり、集合時間も18時頃とあるだけで、参加者は三々五々集まってきました。開会の言葉も、近況報告も特になく、飲んで、食べて、喋って、時間が来ると解散という流れです。

参加して、お互いの変化や元気な顔を確認できる貴重な場といえるでしょう。

この日、皆が合意したのは、1,2年後に来る喜寿の記念同期会を上田でやろうということでした。それまでにコロナが収まってくれることを祈りたいと思います。

(2023年4月26日記)

以上

左から上原、小山田、柳沢、荻原、小山、島田、丸山、中村、増澤、上野、若林、布施

